

# 受 託 事 業

## I 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

### 1 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

また、常設展示・企画展示に関して、改善を含めた運営全般についての的確な助言を得るため、運営委員会に常設展示専門部会と企画展示専門部会を設置している。

#### ○ 平成21年度東京都江戸東京博物館運営委員会

常設・企画展示専門部会合同会議

第1回

日 時 平成22年3月12日（金）午後2時から午後4時

場 所 事務棟2階 会議室

内 容 1 21年度事業実績について（2月末現在）  
2 22年度事業体系、予算及び事業計画について

### 2 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

#### ○ 平成21年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

日時 平成21年7月6日（月）午後2時から午後4時

場所 事務棟2階 会議室

内容 1 平成20年度外部評価 評定について  
2 平成21年度事業計画一覧について

第2回

日時 平成22年2月24日（水）午後2時から午後4時

場所 事務棟2階 会議室

内容 平成21年度外部評価 評定について

#### ○ 平成21年度東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日時 平成21年6月29日(月) 午後2時から午後4時  
場所 江戸東京たてもの園 会議室  
内容 1 平成20年度外部評価 評定について  
2 平成21年度事業計画一覧について

#### 第2回

日時 平成22年2月10日(水) 午後2時から午後3時30分  
場所 江戸東京たてもの園 会議室  
内容 平成21年度外部評価 評定について

### 3 コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、(財)東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理(株)及びアサヒビール(株)三者間の総合調整を行った。

#### ○ 平成21年度コンソーシアム運営協議会

##### 第1回

日時 平成22年3月16日(火) 午後2時から午後3時まで  
場所 事務棟2階 会議室  
内容 1 21年度運営報告について(2月末現在)  
2 22年度運営方針について

## II 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

## III たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

## IV 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館(本館)では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園(分館)では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館299名、分館200名体制により、本館では8,927件のガイド、分館では茅葺き農家の燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

## 1 本館ボランティア

- (1) 登録人数（平成22年3月31日現在）  
展示ガイドボランティア214名  
ふれあいボランティア85名（この他、展示ガイドとの兼任38名）  
合計299名
- (2) 活動日時  
火曜日～日曜日（開館日） 10:00～16:00  
毎日15人程度のグループで活動
- (3) 活動内容  
日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内  
日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハングル、スペイン語、ロシア語  
江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営
- (4) 対応件数（平成21年4月～22年3月）

外国語による案内件数	3,682件
日本語による案内件数	5,139件
団体事前案内件数	34件
下見（実踏）の案内件数	0件
子ども相談対応	0件
スポット解説	72件
- (5) ボランティア対象の研修

研修実施回数	4回
研修参加者数（延べ人数）	176人

## 2 たてもの園ボランティア

- (1) 登録人数（平成22年3月31日現在）
  - 正規ボランティア「ひじろ会」 200名（女性77名、男性123名）  
火曜日班33名、水曜日班35名、木曜日班34名、金曜日班32名、  
土曜日班38名、日曜日班28名
  - 臨時ボランティア 19名
- (2) 活動日時  
火曜日～日曜日及び臨時開園日 9:45～17:00  
(10月から3月は16:00まで)
- (3) 活動内容
  - 正規ボランティア  
茅葺き農家の燻煙と周辺整備…4棟  
(吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、綱島家)  
案内ガイド（団体・見所案内・建造物ごと・定時）  
たてもの園事業への参画（催事の企画・実施、学校連携事業、年中行事等）  
自主活動の実施（写真場での撮影、藁細工、風車作り、紙芝居、盆栽、農園作業等）

○ 臨時ボランティア

催事の支援

正規ボランティアの活動支援

(4) 対応件数等

茅葺き農家の燻煙と周辺整備（休園日を除き毎日）

団体案内ガイド 159件 4,410人

ボランティア自主活動 21種、試行3種 820回

(5) その他

正規ボランティアは8回の勉強会と、軽井沢への見学会など3回を企画・実施した。

## V 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。平成21年度は、資料收藏委員会を2回開催し、第1回目（10月30日）では購入資料を中心に、第2回目（1月29日）では寄贈資料を中心に付議した。

1 平成21年度資料収集点数 (単位：点)

区分	購入	寄贈	その他	計
標本資料	198	1,440	0	1,638
図書資料	658	0	6,637	7,295
映像音響資料	0	903	0	903
合計	856	2,343	6,637	9,836

2 主な収集資料（寄贈資料より）

分類	資料名
絵画	両国橋西詰図
典籍	光琳百図
文書類等	旧西尾藩田中家文書
文書類	大伝馬町名主馬込家文書
生活民俗等	興行刷物、商店引札・懸紙ほか
生活民俗	浅草国際劇場大入り袋
生活民俗等	戦前の羽二重ワイシャツほか
生活民俗	今村の水無飴 箱
印刷物	東京関係絵葉書
静止画等	テレビCMガール第1号関係資料
動画等	占領末期東京のカラースライド・8mmフィルム

## VI 資料制作

### 1 複製資料

- (1) 資料名 明治大学博物館所蔵「地方測量之図」  
点数 1点  
説明 嘉永元年（1848）3月、葛飾北斎89歳の時に、盛岡藩士梅村徳兵衛の依頼により作成した測量の景観図。江戸時代の測量（検地）の様子を、測量器具とあわせて具体的に描いており、常設展「江戸を結ぶ村と島」「江戸の文化交流」での活用が可能である。
- (2) 資料名 十二ヶ月年中江戸風俗絵巻（中巻）  
点数 1点  
説明 紀州藩の江戸詰め御用絵師で狩野派の門人、山本養和の作。正月から十二月まで各月の江戸市中の年中行事、風俗を描いている。当資料は展示活用頻度が高く、原資料保護の観点から製作した。昨年度は上巻を製作し、来年度は下巻を製作する予定である。
- (3) 資料名 ペリー久里浜来航の図  
点数 1点  
説明 ペリー艦隊来航という、近世から近代への変遷を解説する好資料として活用頻度が高い。常設展示をはじめとした館内外での活用の充実を図るとともに、原資料保護の観点から複製を製作した。
- (4) 資料名 ペリー横浜来航の図  
点数 1点  
説明 ペリー艦隊来航という、近世から近代への変遷を解説する好資料として活用頻度が高い。常設展示をはじめとした館内外での活用の充実を図るとともに、原資料保護の観点から複製を製作した。

## VII 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営を図れるよう、資料を購入した。

〔主な購入資料〕

分類	資料名
絵画	隅田川風俗図屏風
絵画	江戸名所 かすみかせぎ
絵画	横浜異人商館之図
工芸品	白麻地御殿模様茶屋染帷子
工芸品	白麻地石橋模様浴衣

工芸品	薄黄麻地風景模様帷子
工芸品	梨子地梅樹葵牡丹紋散雑道具指樽
工芸品	本小札紅糸威胴丸具足
文書類	江戸牛込記録（牛込放生寺門前 町会所金拝借につき）
生活民俗	銅製灯籠
生活民俗	ベティちゃん振り子時計
生活民俗	電気スタンド
印刷物	ポスター「どりこの」

## VIII 資料管理・保全

### 1 資料の修理

95件（165点）の修理を行った。

【内 訳】

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標本資料	91	91	図書資料	1	71
絵画	11	11	図書	1	71
工芸品	11	11			
古文書類	39	39	映像音響資料	3	3
書跡	25	25	動画	3	3
典籍	3	3			
印刷物	2	2			

### 2 資料の収蔵

平成22年3月末日現在、548, 675点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	301, 956点
映像音響資料	37, 503点
図書資料	209, 216点

### 3 資料の貸出

平成22年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、19件（80点）の資料を貸し出した。

### 4 収蔵庫の棚卸し

平成21年度は、生活民俗収蔵庫1・2・3・5、映像音響収蔵庫1・2の91, 167点の資料の確認作業を行った。

## 5 寄託資料の更新

2件、4, 192点の寄託資料の更新を行った。

## 6 資料目録の作成

「東京都江戸東京博物館資料目録 動物編（ネコ）」を1, 000部作成した。

# IX 展示

江戸東京博物館5・6階の常設展示室（8, 934㎡）において、定期的に展示替えを計24回行った。常時約2, 000点の資料を展示するとともに、企画展や常設展示各コーナーで開催する特集を実施している。その際、展示資料の管理、温湿度等展示環境の維持を行っている。さらに、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催している。また、外部機関と協力し、企画展「発掘された日本列島2009」展、「将軍綱吉と元禄の世」展を開催した。

### 常設展観覧者実績

区分	平成21年度(A)	対前年比(A/B)	平成20年度(B)
一般	332, 494人	93%	358, 505人
学生	29, 562人	100%	29, 579人
高校生、都外中学生	55, 662人	95%	58, 766人
65歳以上	77, 039人	78%	98, 854人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	292, 601人	89%	328, 608人
合計	787, 358人	90%	874, 312人
1日あたり観覧者数	2, 500人	90%	2, 776人

## 1 展示企画

「展覧会等企画検討委員会」答申に基づき、東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を8回実施した。

### (1) 東海道五拾三次 ～あの浮世絵がやってきた～

会期 平成21年4月1日（水）～5月10日（日）

会場 5階 第2企画展示室

内容 平成20年度に購入した「東海道五拾三次」を公開し、常設展の活性化を図ると同時に、改めて東京都江戸東京博物館の存在意義を広く周知した。

### (2) 市民からのおくりもの2009 ～平成20年度収集 新収蔵品から～

会期 平成21年5月16日（土）～6月7日（日）

会場 5階 第2企画展示室

内 容 東京都江戸東京博物館では、江戸東京の歴史と文化を守り伝えるため、広く市民に寄贈を呼びかけて資料を収集している。寄贈者への感謝を表すると同時に、博物館の収集活動に関心を持ってもらうため、平成20年度に収集した資料を紹介した。

(3) 発掘された日本列島2009

会 期 平成21年6月20日(土)～8月2日(日)

会 場 5階 第2企画展示室

内 容 全国各地の発掘成果の中から特に注目される遺跡の出土品を中心に紹介し、埋蔵文化財保護に対する理解を深めた。あわせて東京会場独自の企画「戦国城館の宝物」を開催した。

(4) 江戸東京ねこづくし

会 期 平成21年8月13日(木)～9月27日(日)

会 場 5階 第2企画展示室

内 容 江戸東京においては、猫は愛玩動物としてかわいがられるだけでなく、猫に関する数多くの絵画・物語も生まれた。江戸東京の人々と猫の関わりの軌跡を通し、魅力的で豊かな猫の世界を紹介した。

(5) えどはくでおさらい!江戸時代～教科書でみたあの人、この絵～

会 期 平成21年10月6日(火)～11月29日(日)

会 場 5階 第2企画展示室

内 容 修学旅行や社会科見学で来館する児童・生徒のニーズに応え、小・中学生の社会や歴史の教科書の内容に合致する近世の展示を行った。展示に合わせ、ワークシートや映像など、教育ツールを用意した。

(6) 旗本のみた忠臣蔵～若狭野浅野家三千石の軌跡～

会 期 平成21年12月12日(土)～平成22年2月7日(日)

会 場 5階 第2企画展示室

内 容 新たに発見された赤穂浅野家の分家に当たる若狭野浅野家文書の中に含まれていた浅野家鉄砲洲上屋敷図など、貴重な新発見資料を中心に、赤穂事件とその背景を紹介した。

(7) 将軍綱吉と元禄の世～泰平のなかの転換～

会 期 平成21年12月15日(火)～平成22年2月7日(日)

会 場 6階 常設展示室

内 容 元禄時代に将軍となった徳川綱吉の人柄をしのばせる直筆の絵画・書籍などを展示するとともに、平和化の中で発展する華やかな元禄文化を代表する作品・資料を紹介した。「旗本のみた忠臣蔵」と同じく元禄期に焦点を当て、開催期間もほぼ同時期に設定し、相乗効果を狙った。

(8) えどはくでおさらい!明治大正時代～教科書でみたあの人、この絵～

会 期 平成22年2月16日(火)～3月28日(日)

会 場 5階 第2企画展示室

内 容 修学旅行や社会科見学で来館する児童・生徒のニーズに応え、小・中学生の社会

や歴史の教科書の内容に合致する近代と暮らしの変化に関する展示を行った。展示に合わせ、ワークシートや映像など、教育ツールを用意した。

## 2 教育普及

### (1) 「えどはく寄席」(毎土・日曜日、祝日の11:30~12:00、13:30~14:00)

客数：30,759人

中村座前で、落語、新内、相撲甚句、かつぼれ、女義太夫、邦楽などを実演し、伝統芸能の継承・普及と若手芸人の育成を図る。

#### ※夏休みの催し

期間：平成21年8月13日(木)~16日(日)

客数：1,590人

落語と津軽三味線、和太鼓、箏などといった邦楽器の演奏を実施。

#### ※正月の催し

期間：平成22年1月2日(土)~1月4日(月) (1月5日は休館)

客数：3,816人

獅子舞、落語など正月らしいパフォーマンスを5階常設展示室・中村座前と1階ロビー等で行うほか、からくり実演、箏曲演奏等を実施。

### (2) ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

ふれあい体験教室実施数 51件

ふれあい体験教室参加者数 2,085人

#### 実績一覧

日程	内容	人数
4月4日	和算のひみつ	64
4月26日	歴史散歩「佃島・石川島を歩こう」	18
5月2日	藍染め体験(両国にぎわい春祭り)	54
5月2日	体験茶席(両国にぎわい春祭り)	32
5月2日	みんなで遊ぼう!昔遊び(両国にぎわい春祭り)	50
5月3日	万華鏡をつくろう(両国にぎわい春祭り)	50
5月9日	ときめきキモノ体験	23
5月9日	和算のひみつ	43
5月31日	歴史散歩「深川界限の史跡をめぐる」	21
6月6日	和算のひみつ	69
6月28日	ときめきユカタ体験	45
7月18日	ときめきユカタ体験	45
7月25日	和算のひみつ	94
7月26日	藍の生葉染め体験教室(ハンカチ、小学生向け)	15

8月1日	歌舞伎隈取体験	18
8月2日	ぎやまん彫りをしよう	18
8月9日	ときめきユカタ体験	50
8月15日	和算のひみつ	113
8月22日	オリジナル影絵を作ろう	16
8月23日	万華鏡をつくろう	27
8月23日	浮世絵摺り体験	25
9月12日	和算のひみつ	55
9月27日	歴史散歩「佃島・石川島を歩こう」	18
10月3日	和算のひみつ	50
10月3日	神無月体験茶席	30
10月3日	藍染め体験	50
10月17日	ときめきキモノ体験	35
10月24日	歴史散歩「墨堤散策」	11
11月7日	和算のひみつ	46
11月13日	江戸切子教室	6
11月14日	江戸切子教室	23
11月14日	羽根風車をつくろう	50
11月15日	江戸切子教室	19
11月15日	ときめきキモノ体験	31
11月28日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	70
12月5日	歴史散歩「鬼平青春の地 本所界限を歩く」	19
12月5日	和算のひみつ	36
12月12日	師走体験茶席	32
1月9日	和算のひみつ	67
1月16日	ときめきキモノ体験	38
1月16日	歌舞伎の隈取（化粧）体験	13
1月30日	睦月体験茶席	31
1月30日	節分の鬼をつくろう	33
2月11日	和算のひみつ	65
2月13日	ぎやまん彫りをしよう	19
2月13日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	147
2月27日	浮世絵を組み立てよう	32
3月6日	ときめきキモノ体験	31
3月13日	弥生体験茶席	37
3月20日	歴史散歩「常設展示の見学と両国の史跡散歩」	14
3月27日	和算のひみつ	87
	合計 51件	2,085

(4) ミュージアムトーク（毎週金曜の16:00～16:30）

回数：計51回

参加者数：1,839人

学芸員による展示解説。企画展や特集などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介する。

## X 常設展示リフレッシュ

開館以来、大きな変更・更新をしていない常設展示について、これまでの問題点や課題、来館者の要望などを踏まえ、全体的なリフレッシュを行い、より魅力ある常設展とし、江戸東京の歴史と文化発信の拠点としていくため、「東京都江戸東京博物館常設展示リフレッシュ検討委員会」を設置し、「東京都江戸東京博物館常設展示リフレッシュ事業基本構想」を取りまとめた。

### ○ 常設展示リフレッシュ検討委員会の開催

全体会 3回

展示内容部会 2回

施設デザイン部会 2回

### ○ リフレッシュ検討作業PTの開催

展示内容部会PT（江戸ゾーン）4回

展示内容部会PT（東京ゾーン）7回

施設デザインPT 3回

## XI コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業（常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等）への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム（資料情報システム）の管理及び運用を行う。

今年度は、平成19及び20年度に実施した資料情報システム改善の検証を行い、不具合について適宜修正した。

## XII AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

今年度は、「映像ホール」でのインタラクティブ映像ならびに立体映像の上映をとりやめた。これにともない「映像ホール」は学校団体などへの事前ガイドや視察時の会場、また特別展関連映像の上映、えどはくカルチャーの会場として使用した。さらに平成22年12月より上記運用に加え、特別展・企画展に関連した館蔵の映像資料の上映を開始した。

## 1 映像ホール

入場者実績 19,482人

	利用目的	内 容	入場者実績
1	ボランティアガイド	学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明	3,606人
2	視察対応	外部団体や大学、海外要人・機関などへの館概要説明	1,570人
3	展覧会関連	特別展関連映像の放映や友の会等への展示内容説明	6,687人
4	えどはくカルチャー	館事業「えどはくカルチャー」会場として利用	520人
5	学校団体等対応	当日来館された団体に対して常設展や館内の案内映像を放映する。	2,148人
6	企画上映	特別展・企画展に関連した映像や季節にふさわしい映像を放映。	4,951人

## 2 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（14人利用可）
映像ソフト数	404タイトル（平成22年3月31日現在）
入場者数	7,578人（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

## 3 収蔵庫からのメッセージ

設置台数	5台
映像入力数	38,683枚（内24,995枚公開） （平成22年3月31日現在）

## 4 Web版収蔵庫からのメッセージ

公開画像数	21,185点（平成22年3月31日現在）
-------	-----------------------

## XIII 図書室の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。また、開架空間の大幅な拡張にともない、開架で閲覧可能な資料を大幅に増加した。

4週間の閉室期間中（6月23日～28日、11月14日～22日）は、大規模な棚卸作業、開架書籍の入替えなどを実施した。

## 1 図書室利用状況

入室者数	42,512人
閉架図書請求数	3,130冊
マイクロフィルム請求数	505件
図書複写申請数	17,141枚
マイクロフィルム複写申請数	7,518枚
レファレンス対応数	2,031件
インフォメーション対応数	1,353件
WEB-OPAC検索利用数	33,295件
ALC検索利用数	97,208件

## 2 図書室への招待席

図書室が所蔵する図書の魅力を直接伝える講座を開催し、図書室利用者の増進に寄与した。

講座名	開催日	講師	参加人数
雑誌から見た東京の歴史	6月30日(火)	行吉正一(学芸員)	50
展示室のその人—どんな顔？	7月28日(火)	栗原智久(司書)	6
江戸研究の文献を探す	12月18日(金)	高山慶子(専門研究員)	60
「江戸人」の日記を読む	2月12日(金)	石山秀和(専門研究員)	168

## 3 夏休み子ども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成21年7月18日(土)～8月30日(日)

## 4 図書室内展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を行った。

展示テーマ	会 期	担 当
1980～90年代の 女性誌グラフィティ	6月30日(火)～7月31日(金)	井上美奈子(司書)
ハチ公	9月1日(火)～11月13日(金)	式淳子(司書)
トラ尽くし	1月1日(金)～1月29日(金)	井上美奈子(司書)
錦絵・文学作品にみる百本杭	2月10日(水)～3月31日(水)	栗原智久(司書)

## 5 創刊号コレクションの公開

研究対象として収集した雑誌創刊号コレクション約1,400点を整理し、コンピュータ、中高年、テレビ・ラジオ、総合、ヤング、くらし、ペット、モノ情報などの分野について約300点を公開した。

## XIV 野外収蔵

「江戸東京たてももの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

### 入園者実績

区 分	平成21年度(A)	対前年比(A/B)	平成20年度(B)
一 般	92,150人	97%	95,163人
大学生・専門学校生	8,659人	93%	9,331人
高校生、都外中学生	2,513人	90%	2,779人
65歳以上	25,996人	98%	26,657人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、教育活動等)	109,927人	109%	100,420人
合 計	239,245人	102%	234,350人
1日あたり観覧者数	767人	102%	749人

### 1 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「子どもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、冬「はらっぱ大会」などの各イベントを行った。

#### (1) 子どもの日イベント

内 容 買い物ゲーム、泥団子づくり、チャンバラ、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成21年5月5日(火・祝)・6日(水・休)

会 場 園内全体

参加者数 2,654人(当日来園者)

#### (2) 七夕折り紙教室

内 容 茅葺き民家で折り紙づくりや短冊に願い事を書き込むなどの体験講座。また紙芝居なども実施。

期 間 平成21年6月27日(土)・28日(日)

会 場 西ゾーン 吉野家

参加者数 120人(参加者)

- (3) 小暑のつどい  
内 容 朝顔、ほおづきの鉢植えの販売や浴衣の展示などで初夏の風情を再現。  
期 間 平成21年7月4日(土)・5日(日)  
会 場 園内ビジターセンター前及び東ゾーン子宝湯など  
参加者数 2,559人(当日来園者)
- (4) 下町夕涼み  
内 容 盆踊り、寄席、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現  
期 間 平成21年8月1日(土)・2日(日)  
会 場 園内全域  
参加者数 9,712人(当日来園者)
- (5) 体験!発見!職人さん  
内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験したり見学したりする。  
期 間 平成21年10月3日(土)・4日(日)  
会 場 東ゾーン及び復元建造物の公開  
参加者数 2,592人(当日来園者)
- (6) クリスマスリースづくり  
内 容 園内の樹木を使ってクリスマスリースをつくる体験講座  
期 間 平成21年11月28日(土)・29日(日)  
会 場 ビジターセンター、田園調布の家  
参加者数 30名(当日参加者)
- (7) 正月飾りづくり  
内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座  
期 間 平成21年12月5日(土)・6日(日)  
会 場 東ゾーン プレハブ  
参加者数 146人(当日参加者)
- (8) 正月遊び  
内 容 書き初め、餅つきの実演など正月ならではの催しを実施。  
期 間 平成22年1月9日(土)・10日(日)  
会 場 園内全体  
参加者数 3,355人(当日来園者)
- (9) はらっぱ大会  
内 容 ベーゴマ大会、チャンバラ大会、足湯、いろりでの湯茶のサービスを実施。  
期 間 平成22年2月6日(土)・7日(日)  
会 場 東ゾーン はらっぱ  
参加者数 2,193人(当日来園者)
- (10) 春先キモノ日和  
内 容 「和の装い」をテーマに着物の着付けサービスやふろしき体験講座、着物販売などを行う。  
期 間 平成22年3月21日(日・祝)・22日(月・休)

会 場 園内全体

参加者数 4, 035人 (当日来園者)

(11) 伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 桐箆笥、鍛金、江戸扇子、鋳工芸、竹工芸、東京仏壇、木工（建具）、染色補正、漆工芸、草木染手織物、江戸木箸、市松人形、江戸独楽、村山大島紬、東京手描友禅、型紙彫刻、江戸鼈甲、江戸木彫刻、江戸象牙彫刻、鼈甲、つまみ簪

期 間 平成21年4月～22年3月のうち24日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

観覧者数 当日入園者（37, 531人）

(12) 網島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、干し柿、大根干し、小正月・繭玉飾り、節分

期 間 年8回 平成21年4月～22年3月のうち83日間

会 場 江戸東京たてもの園 網島家

## 2 まちづくり

(1) まちづくり計画

下町中通りを中心に臨場感あふれる街並みとなるよう修景計画を立案、実施。ボランティアによる洗濯物の干しと取り込み、鉢植えを中心とする植栽、カンバン、ハリガミの掲示を実施した。

(2) ボンネットバスの運行

毎月2回／1回につき4便

(3) 田園調布の家（大川邸）にてピアノ演奏 毎月最終日曜日

## 3 学校連携事業

「藍の育成と藍染め体験」「昔のくらし体験」「ひじろっ子（子どもボランティア）」「教員研修」「教員初任者研修」「校外学習」「職場体験」を実施した。

(1) 藍染め体験

建染めを行い、染色体験をした。

参加校：23校

(2) 昔のくらし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、雨戸の開け閉めなどを体験するほか、昔の道具探しなどを実施した。

参加校：54校

(3) 子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数：74人

(4) 教員研修

小金井市、国分寺市、小平市、西東京市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数：82人

(5) 教員初任者研修

小金井市、小平市の教員初任者に対して、3日間の学校外活動（ボランティア活動）として、当園ボランティア活動に体験参加した。

参加人数：19人

(6) 校外学習

中学生が各自テーマに沿った調べ学習を行った。

参加人数：18人

(7) 職場体験・職場訪問

中学生が職場を訪れ、体験やインタビュー等により、仕事について学んだ。

参加人数：22人

4 子ども居場所作り「武蔵野えどまる団」

文部科学省が推進している「地域子ども教室推進事業」の一環として始まった、“遊び”を軸にし、江戸東京たてもの園のボランティアや近隣のサークル、大学生などの地域諸団体と連携し、〈子どもの居場所〉作りとして下記の活動を行った。

[内 容]

指令 54	平成21年	4月	かえっこバザール
指令 55		5月	風雲えどまる城～王国騒乱大チャンバラ大会～
指令 56		6月	こねる！？飛ばす！？紙ワザ皆伝！
指令 57		7月	ガンガン THE 盆踊りIV
指令 58		8月	打ち水大作戦
指令 59		9月	風雲えどまる城～夏の陣～
指令 60		10月	えどまる王国大運動会
指令 61		11月	落ち葉プール
指令 62		12月	風雲えどまる城～決戦小出ヶ原の巻
指令 63	平成22年	1月	大カルタ大会
指令 64		2月	風雲えどまる城～冬の陣～
指令 65		3月	えどまる本舗～スプリング・セール～

5 その他事業

(1) ミュージアムトーク

毎月1回（第4土曜日）と特別展開催中に随時実施。

学芸員、研究員による復元建造物や特別展について解説した。

(2) ビジターセンターの導入展示

- ・第7回小金井公園・江戸東京たてもの園 桜写真展  
平成21年5月12日(火)～31日(日)  
観覧者数577人
- ・小金井百景写真展  
平成21年6月9日(火)～28日(日) 観覧者数525人
- ・小金井の四季と観光写真展  
平成21年7月22日(火)～8月2日(火・休) 観覧者数651
- ・第31回小金井薪能写真展  
平成21年8月18日(火)～30日(日) 観覧者数361人
- ・小金井公園野鳥の会写真展  
平成21年9月8日(火)～27日(日) 観覧者数740人
- ・江戸東京たてもの園導入展示  
平成21年9月29日～11月8日(日)
- ・天皇陛下御在位20周年記念写真展 光華殿～学習院中等科の時代を経て～  
平成21年11月10日(火)～29日(日) 観覧者数1,240人
- ・たてもの園ボランティアスケッチ同好会作品展  
平成21年12月1日(火)～平成22年1月11日(月・祝) 観覧者数564人
- ・江戸東京たてもの園導入展示  
平成21年12月22日(火)～平成22年2月28日(日)
- ・インターン研究成果発表展  
平成22年3月1日(火)～14日(日) 観覧者数437人
- ・第1回～7回小金井公園・江戸東京たてもの園桜写真展(入選作品展)  
平成22年3月16日(火)～4月4日(日) 観覧者数704人(3月16日～31日)

(3) 園内でのコンサート

- ・前川邸サロンコンサート  
平成21年6月14日(日)、10月25日(日) 参加者数69人
- ・朗読と篠笛のつどい  
平成21年8月9日(土) 当日入園者961人
- ・お風呂で和ジャズ  
平成21年9月20日(日) 参加者数225人

(4) その他

- ・たてもの園昆虫教室  
前期：平成21年7月24日(木)～26日(日)、29日(水)、30日(木)  
参加者数105人
- ・東京大茶会  
平成21年10月10日(土)・11日(日) 入園者数9,443人
- ・ふれあいこどもまつり「松尾敦子の昔話・アンディ先生のストリート・マジック」

平成21年11月3日（火・祝）参加者数290人

・江戸東京野菜フォーラム（小金井市との共催）

平成21年11月6日（金）参加者数80人

## 6 展示企画

### (1) 桜を愛でる～花見の今昔～

期 間 平成21年3月20日（金）～5月31日（日）

内 容 江戸時代から現代に至る花見の歴史をひもとくとともに、小金井桜についても掘り下げ、当園ならではの桜の楽しみ方を紹介した。

入園者 74, 511人（内、平成21年度分は60, 639人）

### (2) 魅惑のカンバン・ハリガミ展

期 間 平成21年6月13日（火）～9月27日（日）

内 容 私たちの暮らしを取り巻く華やかで美しく、時にユーモラスな看板や貼り紙。本展では、豊富な資料とともに、その歴史と実態に迫った。

入園者 67, 199人

### (3) 甲武鉄道と多摩～中央線開通120周年記念展

期 間 平成21年10月10日（土）～12月20日（日）

内 容 都心と多摩を結ぶ中央線は、今から120年前の1889（明治22）年に開通した甲武鉄道から始まった。本展では、甲武鉄道の歴史と多摩地域の関わりについて見た。

入園者 55, 199人

### (4) 旧武蔵野郷土館～モノでつづる武蔵野の歴史～展

期 間 平成22年1月5日（火）～3月7日（日）

内 容 江戸東京たてもの園が武蔵野郷土館から引き継いだ考古資料を中心に、武蔵野の歴史をふりかえった。

入園者 31, 259人

### (5) 多摩の酒蔵展

期 間 平成22年3月20日（土）～5月30日（日）

内 容 多摩地域の酒造りの歴史をふりかえるとともに、酒蔵を地域文化の担い手ととらえ、その役割を見直した。

入園者 12, 177人（3月20日～31日・平成21年度分）

## XV 復元建造物展示調査

東京都が実施する万徳旅館・土井邸・三島邸の復元設計に協力し、万徳旅館・土井邸の展示実施設計を行った。

## XVI 調査・研究

### 1 年間特定研究「隅田川流域の歴史と文化」

年間特定研究は、シンポジウム「両国地域を考える」等で成果を発表した。

- (1) 両国地域研究の統括（小澤弘）
- (2) 両国地域についての歴史地理文化の特性（行吉正一）
- (3) 館蔵の地図で見る両国（近松鴻二）
- (4) 両国地域の町（高山慶子）
- (5) 両国地域における幕府諸施設の所在確認（田原昇）
- (6) 隅田川を舞台とした文学作品（湯川説子）
- (7) 江戸東京の文人と両国（石山秀和）
- (8) 隅田川に関する意匠（飯塚晴美）
- (9) 隅田川の写真、絵画の検索ツールの作成（井上美奈子）

### 2 共同研究

- (1) 「比較都市研究 江戸と大坂」（大阪歴史博物館）  
小澤弘・湯川説子・飯塚晴美・行吉正一・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇・市川寛明・大阪歴史博物館（大澤研一・豆谷浩之）
- (2) 「狩野享吉文庫の調査と研究」（東北大学および附属図書館）  
小澤弘・近松鴻二・石山秀和・市川寛明・東北大学・同附属図書館
- (3) 「CGによる江戸東京の町並復元」（東京電機大学高橋研究室）  
小澤弘・湯川説子・行吉正一・近松鴻二・石山秀和・高山慶子・田原昇・東京電機大学高橋時市郎教授・高橋研究室大学院生
- (4) 「江戸名所百人美女の調査と研究」（ポーラ文化研究所）  
小澤弘・小山周子・ポーラ文化研究所（村田孝子）
- (5) 「旗本浅野家資料の総合研究」（徳川林政史研究所・たつの市龍野歴史文化資料館）  
田原昇・竹内誠・齊藤慎一・徳川林政史研究所・龍野歴史文化資料館（市川高規）
- (6) 「町方書上」（国立国会図書館所蔵）のデータベース化（江戸東京博物館友の会）  
高山慶子・市川寛明・江戸東京博物館友の会

### 3 基盤研究

- (1) 館蔵錦絵の調査と研究（近代版画）（小澤弘・小山周子）
- (2) 館蔵肉筆画の調査と研究（小澤弘・我妻直美・小山周子）
- (3) 川村清雄関係資料の調査（田原昇・落合則子）
- (4) 東京の文学に関する調査研究（湯川説子・行吉正一）
- (5) 喜多川コレクションの調査研究（行吉正一・楯石もも子・石井美佳〈インターン〉）
- (6) 雑誌創刊号コレクションの調査研究（行吉正一）
- (7) 館蔵の各種地図 江戸を除く館蔵地図の調査研究（近松鴻二）
- (8) 館蔵の勝海舟日記の調査研究（近松鴻二・藤田英昭〈インターン〉）

- (9) 酒井伴四郎日記の翻刻および解説（石山秀和・竹内誠・市川寛明）
- (10) 大伝馬町名主馬込家文書の研究（高山慶子）
- (11) 石井コレクションの調査研究（近松鴻二・高山慶子）
- (12) 江戸城内における庶務雑用の研究（田原昇）
- (13) 館蔵資料星野平次郎の櫛・簪コレクションの調査研究（飯塚晴美）
- (14) 燕石十種をレファレンスブックに（栗原智久）
- (15) 博物館図書室の本一利用と保存（栗原智久）
- (16) 大正～昭和期の絵雑誌のながれについて～佐藤將氏寄贈の蔵書から～（式淳子）
- (17) 展覧会図録（カタログ）調査（楯石もも子）
- (18) 都内自治体史調査（楯石もも子）
- (19) 製本・装丁に関する調査（楯石もも子）

#### 4 シンポジウムの開催

「両国地域を考える」

江戸東京博物館の位置する「両国地域」をテーマに、地元の資料館、図書館、博物館との間で研究会や関連講座を通しての交流を行い、地域における連携を模索しながら準備を進めた。盛り場としての両国、近世の本所、明治期以降の町や人について、活発な考察を行った。

開催日 平成22年3月13日（土）

会場 1階 ホール

参加人数 325人

内容 小澤弘（都市歴史研究室長）「両国地域の諸問題」

竹内誠（江戸東京博物館長）「両国盛り場論」

小島惟孝（元墨田区立緑図書館館長）「両国界隈の歴史と人」

高山慶子（専門研究員）「近世本所の町と生業」

西村健（墨田区立すみだ郷土文化資料館）

「空襲で失われた街並み復原の試み—本所区石原町・亀澤町周辺を中心に—」

#### 5 フォーラムの開催

「旗本浅野家文書の世界—「若狭野浅野家資料」の総合的研究—」

企画展「旗本がみた忠臣蔵—若狭野浅野家三千石の軌跡—」と連動し、徳川林政史研究所、龍野歴史文化資料館との研究成果を発表した。

開催日 平成21年12月12日（土）

会場 1階 ホール

参加人数 317人

内容 田原昇（講師）「若狭浅野家とその古文書」

太田尚宏（徳川林政史研究所）「伊勢遷宮用材と山田奉行浅野長恒」

渋谷葉子（徳川林政史研究所）「赤穂浅野家『鉄炮洲上屋敷絵図』について」

浦井祥子（徳川林政史研究所）「浅野家資料から見た火事場見廻りの職務」

藤田英昭（徳川林政史研究所）「幕末維新时期における若狭野浅野家の動向」

## 6 書籍の編集・刊行

### (1) 『調査報告書』第22集の刊行

郷土史家・喜多川周之氏は、浅草および近代の東京下町に関する民間研究者である。喜多川氏が収集した資料は、一括して江戸東京博物館に収蔵され、その数は、絵画、生活民俗、文書類、印刷物、図書、静止画（写真等）など、約35,000点におよぶ。本書では、そのコレクションの概要を紹介する。

名 称	『喜多川周之コレクション』
発行年月日	平成22年3月31日
発行部数	950部
構 成	第1章 喜多川周之コレクションの概要 第2部 喜多川周之コレクションの資料 第3章 喜多川周之氏について 第4部 喜多川周之著作案内

### (2) 『調査報告書』第23集の刊行

江戸東京博物館が所蔵する、紀州藩士・酒井伴四郎の日記を翻刻し、影印とともに収録した。江戸勤番武士の日常生活および都市江戸の生活風俗を考察する上で必要な参考資料も合わせて掲載した。

名 称	『酒井伴四郎日記—影印と翻刻—』
発行年月日	平成22年3月31日
発行部数	1,000部
構 成	口絵「酒井伴四郎日記」（影印） 口絵「久留米藩士 江戸勤番長屋絵巻」（写真） 竹内誠・石山秀和「酒井伴四郎日記について」 石山秀和 「勤番武士の余暇と行楽—秋田藩士貝塚清直の江戸日記を事例に—」 翻刻 酒井伴四郎日記

### (3) 『研究報告』第16号の刊行

平成21年3月に開催されたシンポジウム「江戸東京の水害」をはじめとする江戸東京博物館で行った研究成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館研究報告』第16号を刊行した。

名 称	『東京都江戸東京博物館研究報告』第16号
発行年月日	平成22年3月31日
発行部数	1,450部
構 成	I. 東京都江戸東京博物館シンポジウム「江戸の水害—被害・復興・対策—」 シンポジウム開催趣旨 シンポジウム関連事業記録 石山秀和（専門研究員）「江戸東京における水害史研究の現状と課題」

市川寛明（学芸員）「弘前藩江戸屋敷江戸における寛保水害の被災状況と復興過程」

田原昇（専門研究員）「寛保水害以後の幕府水防体制と『鯨船』」

松村博（㈱ニュージェック）

「寛保2年の洪水被災と復旧を通して見た両国橋の構造と水防」

橋本直子（葛飾区郷土と天文の博物館）「利根川の治水と東京低地の水害」

## II. 論文

小澤弘（都市歴史研究室長）「館蔵『日吉山王社参詣図屏風』について」

落合則子（学芸員）「川村清雄の海軍関係作品の制作経緯について」

—江戸東京博物館所蔵「川村清雄関係資料」および周辺資料からの検証—

湯川説子（学芸員）「泉鏡花と都市東京」

松井かおる（学芸員）「風船爆弾製造と学徒勤労動員」

—風船爆弾関係文書を中心に—

## III. 研究ノート

栗原智久（司書）「『燕石十種』レファレンス索引」（衣・食・住・生業編）

—中央公論社本をもとに—

## 7 研究会の開催

調査研究活動の成果を発表するため、研究会を18回開催した。

テーマ	開催日	発表者	内容	参加者数
荷風と江戸、荷風と東京	6月19日(金)	湯川説子(学芸員)	永井荷風没後50年に際し、特集展示の経緯を報告、今後の研究の方向性を探る。	13
喜多川コレクション①	7月24日(金)	佐藤健二 (東京大学)	当館コレクションの旧蔵者で、郷土史家の喜多川周之氏についての報告。	16
両国の橋と花火	8月7日(金)	大橋菜都子 (学芸員)	両国橋周辺の歴史と文化を、川開きの様子とともに展示した際の経緯を報告。	10
東京の伝統工芸	8月12日(水)	ロバート・ポツィオン(スミソニアン協会国立自然史博物館)	東京の伝統工芸および職人の実態に関する、実地調査の報告。	7
関東大震災後の両国	9月18日(金)	西村健 (すみだ郷土文化資料館)	聞き取り調査をもとに空襲前の石原町・亀沢町周辺の街並み復元の過程を報告。	7
緑図書館と両国	9月25日(金)	松島茂 (墨田区立緑図書館)	地域に根ざした図書館活動報告と、収蔵資料およびそのデータベースを紹介。	11

風船爆弾と学徒勤労働員	10月2日(金)	松井かおる (学芸員)	館蔵資料を通して、学徒勤労働員による風船爆弾の製造過程をたどる。	6
アーサー・M・サックラー・ギャラリーのコレクション	10月9日(金)	ジェームズ・ユラック(スミアン協会国立自然史博物館副館長)	同館の新版画コレクションにまつわるエピソードおよび、館運営の実情を紹介。	10
喜多川コレクション②	10月16日(金)	行吉正一・近松鴻二 (学芸員)・石山秀和 (専門研究員)・楯石もも子 (司書)・石井美佳 (インターン)	凌雲閣関係、地図、近世資料、絵はがき、図書など、コレクションの概要等を紹介。	9
「酒井伴四郎日記」 について	11月6日(金)	石山秀和 (専門研究員)	館蔵資料を通して、江戸勤番武士の実態を探る。研究を取り巻く状況も紹介。	7
浅草今昔展の企画と実施 —地域を展示するということ—	11月27日(金)	杵澤博行(学芸員)	浅草の歴史と文化に関する企画展開催の経緯を紹介。地域研究のあり方を考察。	7
南アルプス周辺での雑穀栽培—雑穀栽培が継続されている理由— 〜江戸東京博物館で行う環境教育のヒント〜	12月4日(金)	川上香(学芸員)	実地調査による研究成果の発表と、今後の環境教育の取り組みについての報告。	7
ぶらりストックホルムの旅〜スカンセン野外博物館調査報告〜	12月11日(金)	早川典子(学芸員)	同館等の活動および運営状況を紹介します。野外博物館のあり方を探る。	10
新発見! 若狭野浅野家資料について	1月15日(金)	田原昇 (専門研究員)	フォーラム開催までの経緯と資料活用の方法、研究と展示のあり方を考案。	7
旗本がみた忠臣蔵	1月29日(金)	田原昇 (専門研究員)	同展開催における新発見資料の展示と、歴史展示「忠臣蔵」のあり方を探る。	8
将軍綱吉と元禄の世	2月5日(金)	大橋菜都子 (学芸員)	同展開催の経緯と、来館者の反応を報告。資料展示の手法についても討議。	7
比較都市研究 江戸と大坂	2月12日(金)	近松鴻二(学芸員)・大澤研一・豆谷浩之 (大阪歴史博物館学芸員)	館蔵江戸図の考察と、大阪歴博所蔵の大阪図との比較。	8

シンポジウム「両国地域を考える」に向けて	3月5日(金)	小澤弘(都市歴史研究室長)・高山慶子(専門研究員)	「両国」地域研究にあたっての問題提起と近世本所の町と生業についての考察。	7
----------------------	---------	---------------------------	--------------------------------------	---

## 8 インターンの受入れ

インターン制度を導入し、調査研究活動を推進した。

〔本館〕

- (1) 「館蔵喜多川周之コレクションの基礎研究」 石井美佳(実践女子大学大学院生)
- (2) 「館蔵勝海舟日記の翻刻」 藤田英昭(徳川林政史研究所非常勤研究員)

〔分館〕

- (1) 「子どもを中心とした来園者調査と博物館における教育以降の基礎研究」  
古川奈津子(東京学芸大学大学院生)
- (2) 「子宝湯を中心とする江戸東京たてももの園収蔵建造物の調査・研究」  
山寺史恵(法政大学科目等履修生)

## 9 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 36校

受入者数 19名

期間 平成21年8月17日(月)～8月28日(金)

### カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月17日(月)	午前	【オリエンテーション】 室長挨拶・概要説明・館内外動線及び主要施設案内・自己紹介	講義・見学	都市歴
		午後	【オリエンテーション】館長挨拶	講義	都市歴
			【施設管理】博物館の施設管理	講義・見学	管理係
			【広報活動】博物館の広報活動	講義	事業推進係
2	8月18日(火)	午前	【ボランティア・友の会】ボランティア、友の会の活動と運営	講義	展示事業係
			【常設展示(1)】常設展示について	講義	展示事業係
		午後	【常設展示(2)】常設展示の見学	見学	展示事業係
			【特別展】 特別展の概要、見学	講義・見学	展示企画係

3	8月19日(水)	午前	【資料収集】資料の収集	講義	資料係
			【資料管理】資料の管理と修復	講義	
		午後	【収蔵庫】バックヤード見学、資料のクリーニング	見学・実習	資料係
			【展示・広報実習(1)】 展示・広報実習の説明 課題資料の割当て	講義	都市歴
4	8月20日(木)	全日	【展示・広報実習(2)】 資料の収集・取扱い (A) 資料の写真撮影 (B) 情報カードの作成 刀、掛軸、巻子の取り扱い	実習	展示事業係 都市歴
5	8月21日(金)	午前	【博物館の現状】	講義	都市歴
			【図書室】図書資料の概要、 図書室の運営と利用法	講義	
		午後	【展示・広報実習(3)】 基本計画の立案	講義・実習	
6	8月24日(月)	午前	【たてもの園】たてもの園の概要、 園内建造物見学	講義	たてもの園
		午後	【たてもの園】 建造物内の演習品整理	実習	
			【たてもの園】 教育普及事業、地域との連携、 たてもの園のボランティア	講義	
7	8月25日(火)	午前	【たてもの園】 ボランティア活動体験	実習	たてもの園
		午後	【たてもの園】 江戸東京たてもの園の学芸業務、 建造物の解体と移築復元	見学	たてもの園
			【たてもの園】 学校連携の実際	講義	
			【たてもの園】 たてもの園の展示	講義・見学	
8	8月26日(水)	午前	【展示・広報実習(4)】 基本計画批評	実習	実習PT
		午後	【展示・広報実習(5)】 基本計画修正、展示準備		
9	8月27日(木)	全日	【展示・広報実習(6)】 展示作業、展示の批評、記念撮影	実習	実習PT
10	8月28日(金)	午前	【展示・広報実習(7)】広報企画 について	講義	事業推進係
		午後	【展示・広報実習(7)】展覧会チ ラシ作成、批評	実習	実習PT
			【学芸員実習のまとめ】	講義	都市歴

#### 10 その他の研修受入れ

(1) 首都大学東京現場体験型インターンシップ 平成21年9月9日(水)～11日(金)(3名)

(2) スミソニアン協会国立自然史博物館研究員受け入れ(ロバート・ポンツィオン)

平成21年4月1日(水)～8月31日(月)(1名)

- (3) 都立一橋高校博物館学入門連携授業 5コマ  
 (4) 国立国会図書館研修 平成21年11月10日(火) (4名)

## 11 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

平成18年度から、都内中学校で要請があった学校からの「職場体験」の依頼にも対応を始め、主に常設展示室の体験コーナーでの昔遊び実演補助などの体験機会を提供している。

### (1) 訪問学習の実施

博学ボランティア(8名)による歴史学習への対応

参加人数 586人  
 参加学校数 64校(小学校1、中学校59、高等学校4、大学0)

### (2) 職場体験の実施

参加人数 13人  
 参加学校数 6校(中学校)

## XVII 広報事業

### 1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内パンフレット	日本語版 196,000部 英語版 68,000部 ドイツ語版 6,500部 中国語版 6,500部 ハンデル語版 9,500部 スペイン語版 5,000部 フランス語版 6,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	年4回発行 延280,000部
取材対応		444件 ※申請件数に基づき取材対応を行った件数
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハンデル版 キッズサイト	アクセス件数 11,785,749件
メールマガジンの 配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 58,046通
広告の掲載	すみだTOWN情報紙アベニュー 「博物館研究」 TOKYO FM「よんぱち」スポット 「夏ぴあプレミアム」記事タイアップ 「東京かわら版」11月号	年12回掲載 年12回掲載 平成21年5月1日生放送 平成21年6月29日発行 平成21年10月28日発行

## 2 分館

種 別	名 称	実 績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	約 160,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延 60,000部
	イベント案内	年4回 延 380,000部

開館からの入場者数の推移

年度	5	6	7	8	9	10	11
本館	3,087,065	2,042,040	1,599,808	1,465,362	1,199,943	1,317,964	1,217,624
常設展	2,647,714	1,734,764	1,349,527	1,165,648	989,394	951,756	850,151
特別展	439,351	307,276	250,281	299,714	210,549	366,208	367,473
分館	245,401	161,142	166,540	202,559	169,941	158,234	158,981
合計	3,332,466	2,203,182	1,766,348	1,667,921	1,369,884	1,476,198	1,376,605

年度	12	13	14	15	16	17	18
本館	1,173,473	1,463,642	1,499,051	1,586,603	1,531,097	1,190,458	1,817,934
常設展	835,233	889,188	868,001	1,041,436	860,258	790,066	1,067,226
特別展	338,240	574,454	631,050	545,167	670,839	400,392	750,708
分館	169,486	257,729	272,503	360,094	257,249	265,528	258,167
合計	1,342,959	1,721,371	1,771,554	1,946,697	1,788,346	1,455,986	2,076,101

年度	19	20	21
本館	1,537,774	1,482,456	1,155,735
常設展	887,650	874,312	787,358
特別展	650,124	608,144	368,377
分館	258,064	234,350	239,245
合計	1,795,838	1,716,806	1,394,980